

主幹教諭研修（任用2年目）

「徳島型メンター制度」のさらなる推進について

2024年5月17日（金）

徳島県教育委員会教職員課
森北 直樹

こどもたちが広い公園で駆け回る
風に舞う髪が幸せを運ぶ
笑顔が溢れ、心は軽やかに
太陽が微笑む、穏やかな午後

砂場で友達と砂のお城を築く
手を伸ばし、夢を形にする
笑い声が響き、心は満たされ
こどもたちの笑顔が世界を明るくする

公園の木陰でお弁当を広げる
仲良く分け合い、笑顔で食べる
こどもたちの目は輝き、未来を見つめ
笑顔の風景が心に残る

こどもたちの笑顔は、
世界を温かく照らす光です。

こどもたちが笑顔の風景がほしい

こどもたちが広い公園で駆け回る

風に舞う髪が幸せを運ぶ

笑顔が溢れ、心は軽やかに

太陽が微笑む、穏やかな午後

砂場で友達と砂のお城を築く

手を伸ばし、夢を形にする

笑い声が響き、心は満たされ

こどもたちの笑顔が世界を明るくする

公園の木陰でお弁当を広げる

仲良く分け合い、笑顔で食べる

こどもたちの目は輝き、未来を見つめ

笑顔の風景が心に残る

こどもたちの笑顔は、

世界を温かく照らす光です。

こどもたちが笑顔の風景がほしい

こどもたちが広い公園で駆け回る
風に舞う髪が幸せを運ぶ
笑顔が溢れ、心は軽やかに
太陽が微笑む、穏やかな午後

砂場で友達と砂のお城を築く
手を伸ばし、夢を形にする
笑い声が響き、心は満たされ
こどもたちの笑顔が世界を明るくする

公園の木陰でお弁当を広げる
仲良く分け合い、笑顔で食べる
こどもたちの目は輝き、未来を見つめ
笑顔の風景が心に残る

こどもたちの笑顔は、
世界を温かく照らす光です。



こどもたちが笑顔の風景がほしい

こどもたちが広い公園で駆け回る
風に舞う髪が幸せを運ぶ
笑顔が溢れ、心は軽やかに
太陽が微笑む、穏やかな午後

砂場で友達と砂のお城を築く
手を伸ばし、夢を形にする
笑い声が響き、心は満たされ
こどもたちの笑顔が世界を明るくする

公園の木陰でお弁当を広げる
仲良く分け合い、笑顔で食べる
こどもたちの目は輝き、未来を見つめ
笑顔の風景が心に残る

こどもたちの笑顔は、
世界を温かく照らす光です。

Copilot



「徳島型メンター制度」のさらなる推進について



「徳島型メンター制度」のさらなる推進について

キーワード

「徳島型メンター制度」のさらなる推進について

楽

「徳島型メンター制度」のさらなる推進について

楽しく

主体性

つながり

満足感

楽

強み

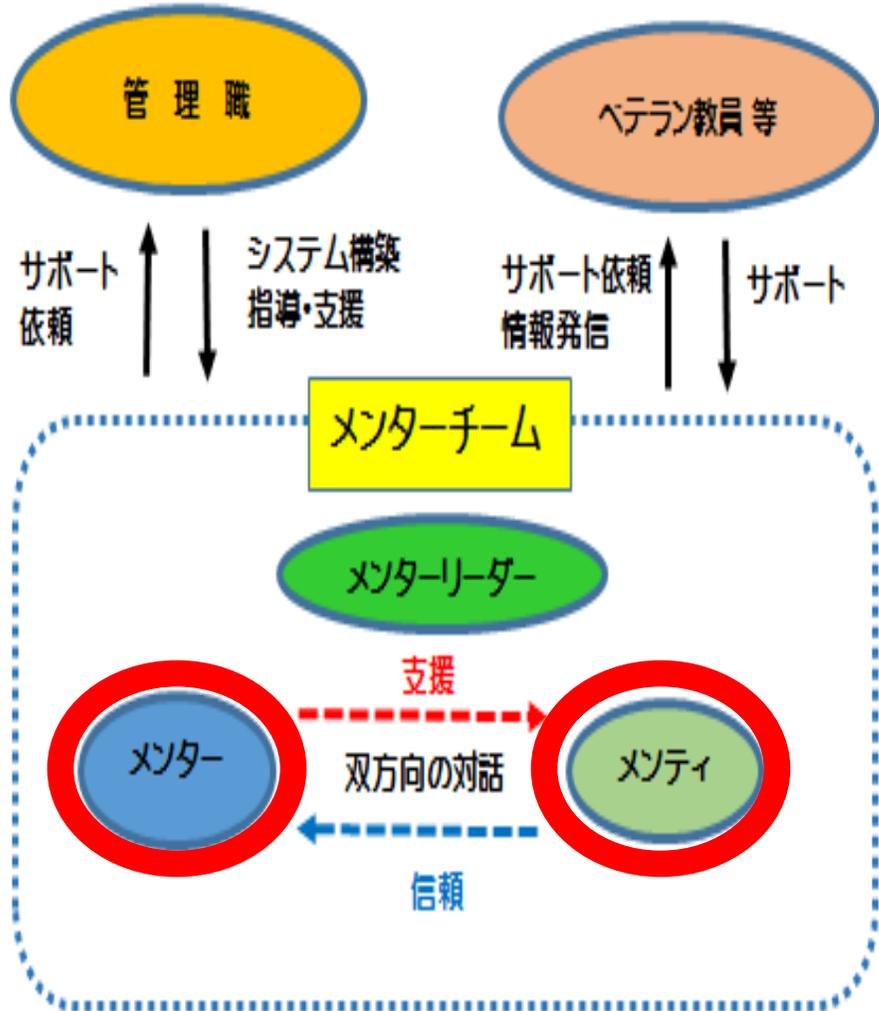
自己肯定感

学び合う

働き方改革

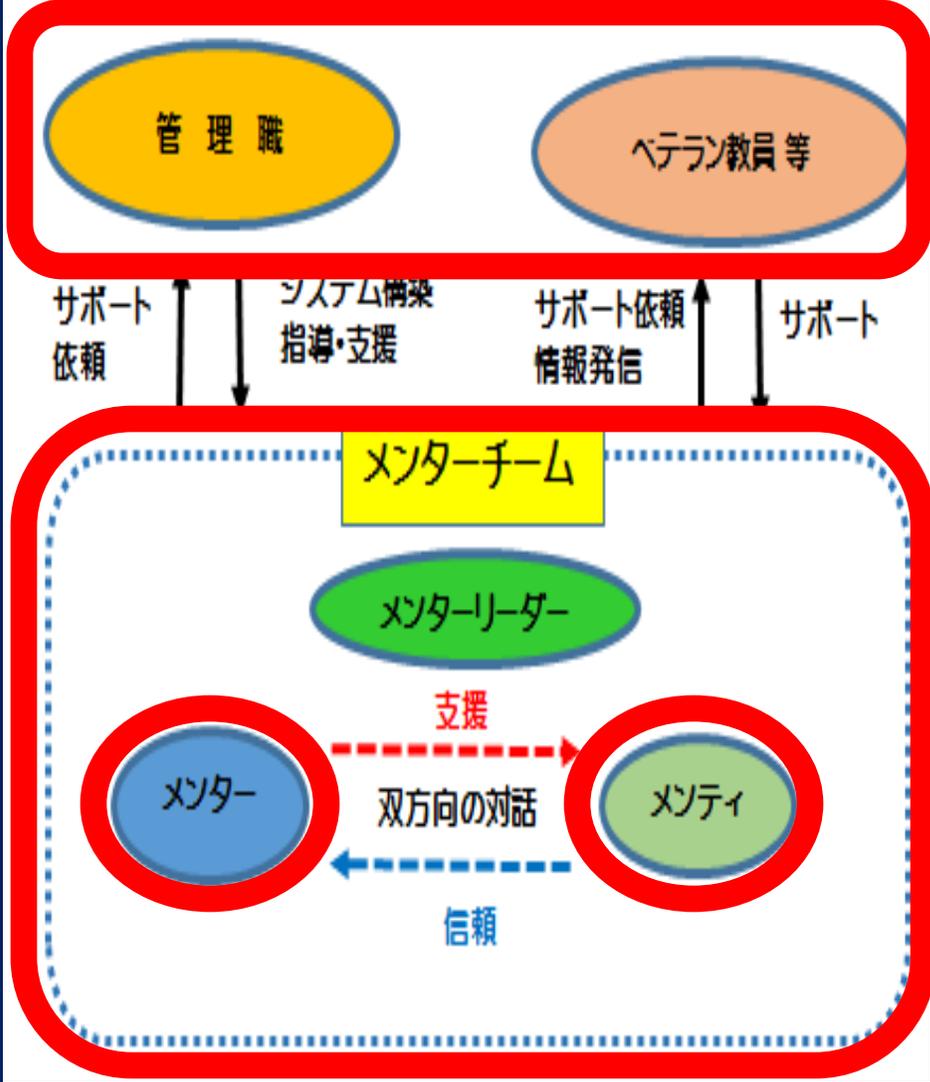
徳島型メンター制度の推進体制

徳島型メンター制度の推進体制

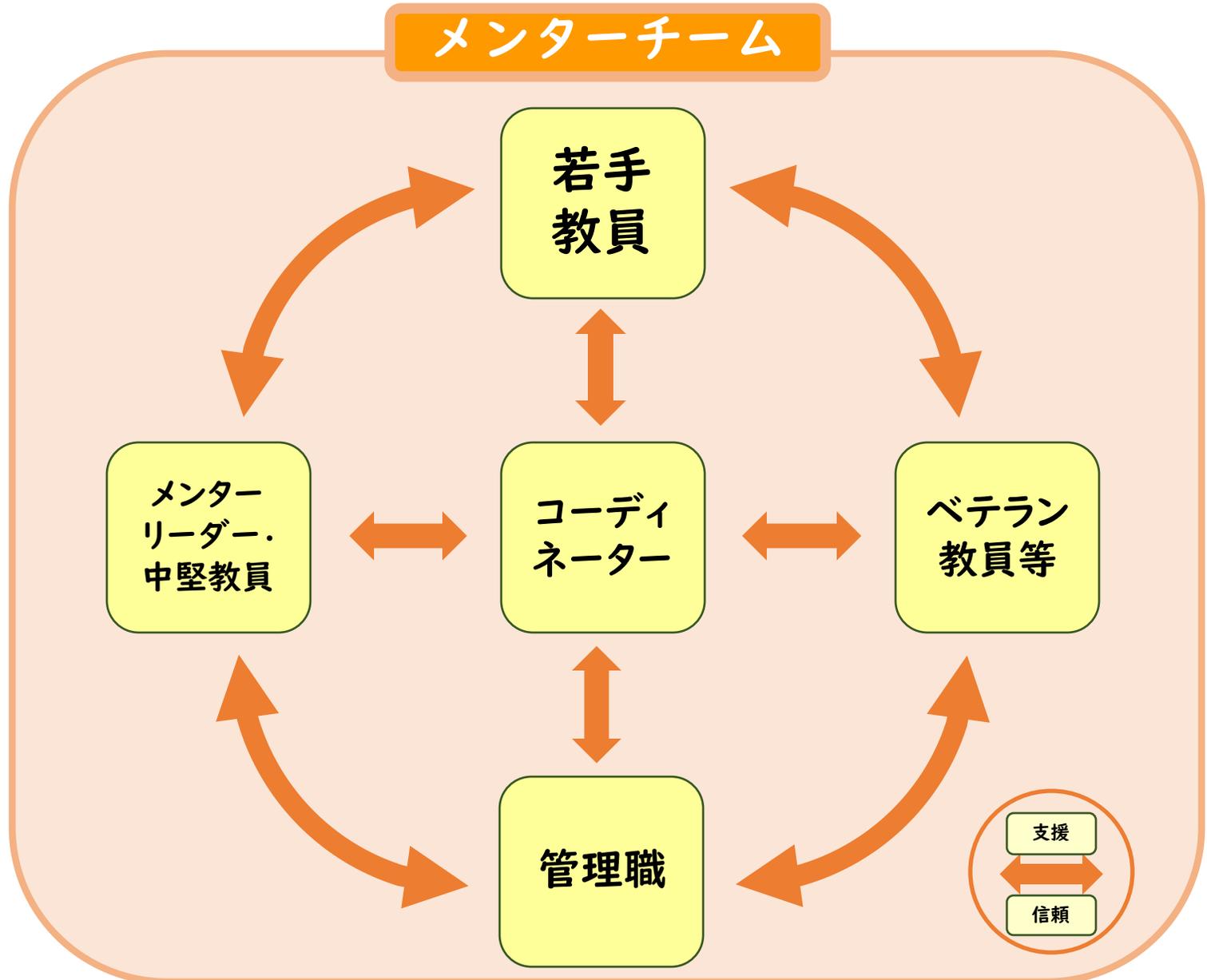


徳島型メンター制度の推進体制

徳島型メンター制度の推進体制



校内サークル型メンター制研修の推進体制



校内サークル型メンター制研修

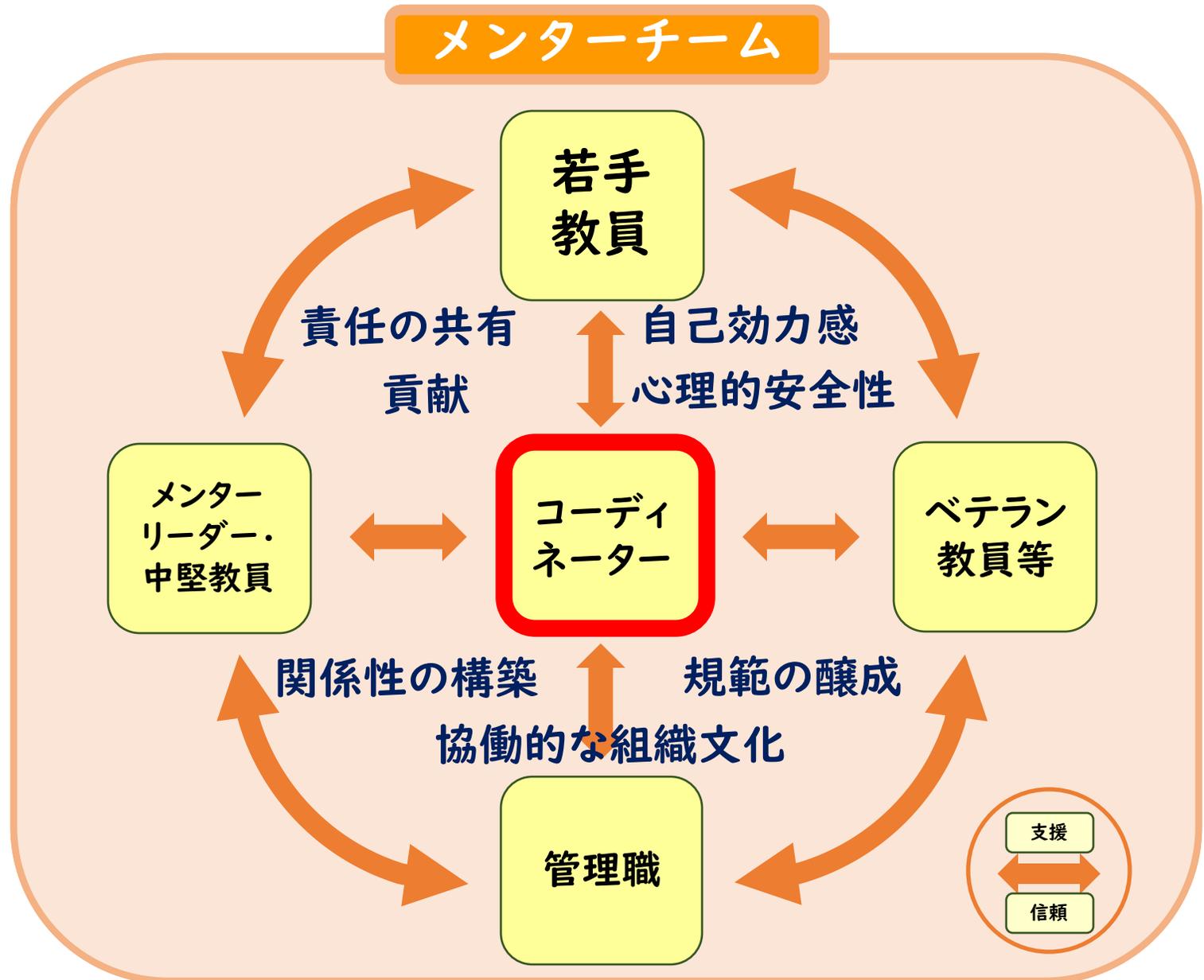
メンター制研修

先輩教職員と若手教職員（初任者等）を軸にチームを組織し、全教職員の悩みや課題を解決するためのメンタルケアと主体的・対話的に自ら学び続ける教職員の力量形成を図る **自己主導・自己調整型研修システム** のこと。

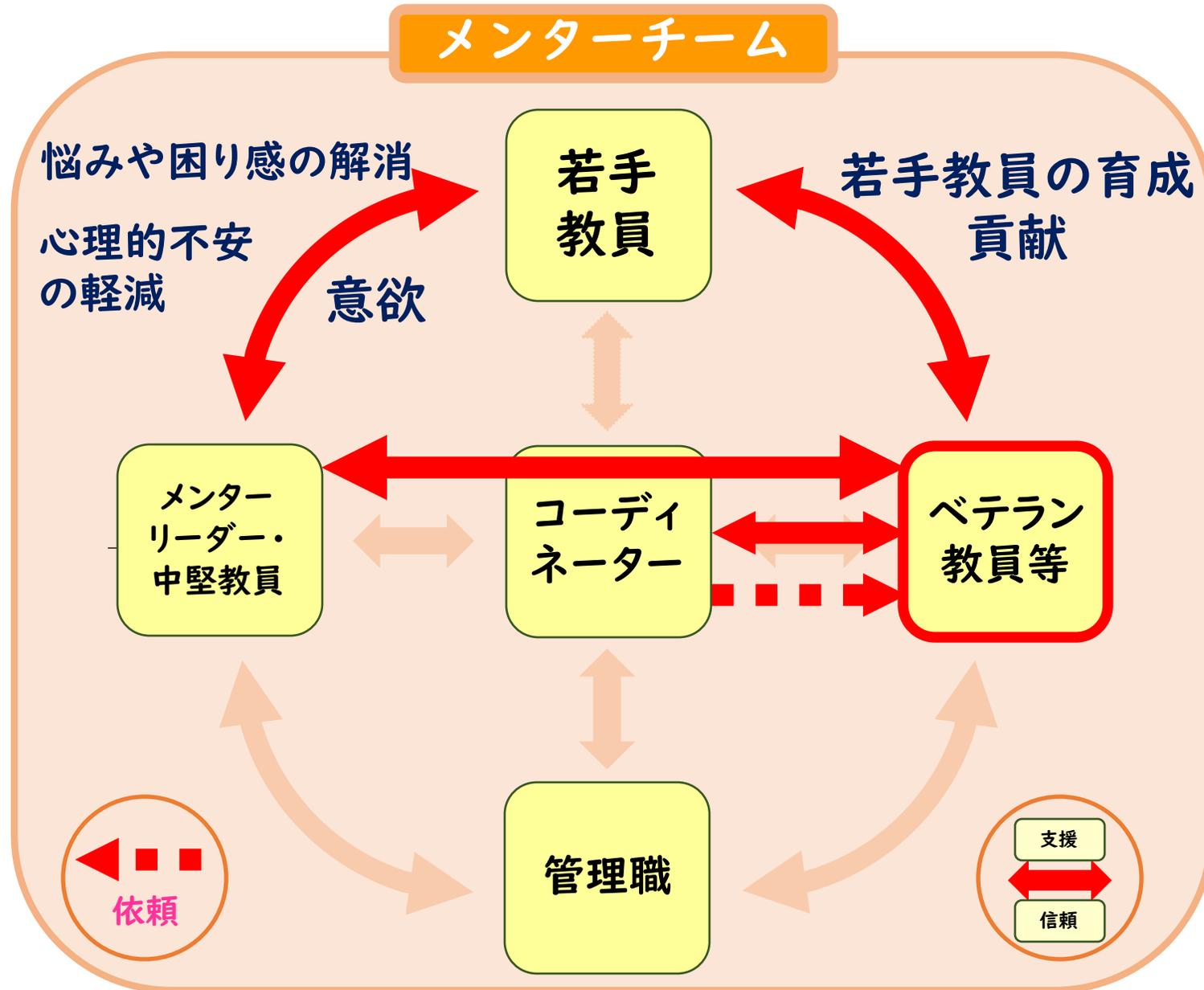
特徴

- メンターチームは、メンターと学習者が対等な関係性で双方向に行う支援。
- コーディネーターを核に、メンターチームの学びたいニーズをとらえ、ベテラン教員のもつ教育技術等の伝承や若手教員の悩みや課題を解決するための研修等を企画する。
- メンターリーダーは、若手教員のニーズを生かし、自発的なミニ研修を実施する。
- ベテラン教員がメンターの場合もあれば、若手教員がメンターになるなどテーマによって、メンターが入れ替わって研修を実施する。
- 主体的・対話的に学ぶことにより教職員全体の力量形成を図り、学校現場を活性化させる。

メンターチーム



校内サークル型メンター制研修

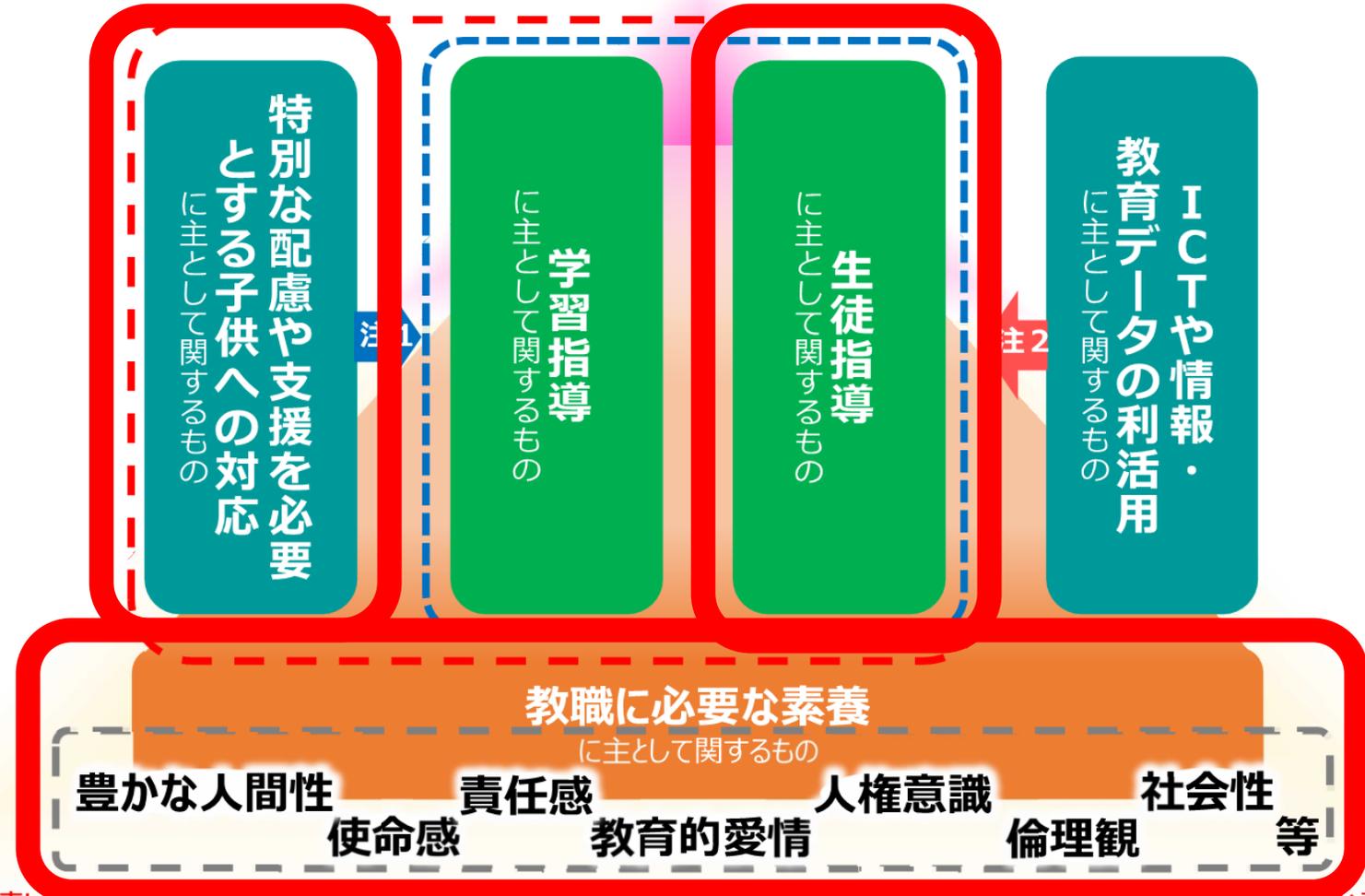


「特別支援教育と教職人生」



指針より (5つの柱)

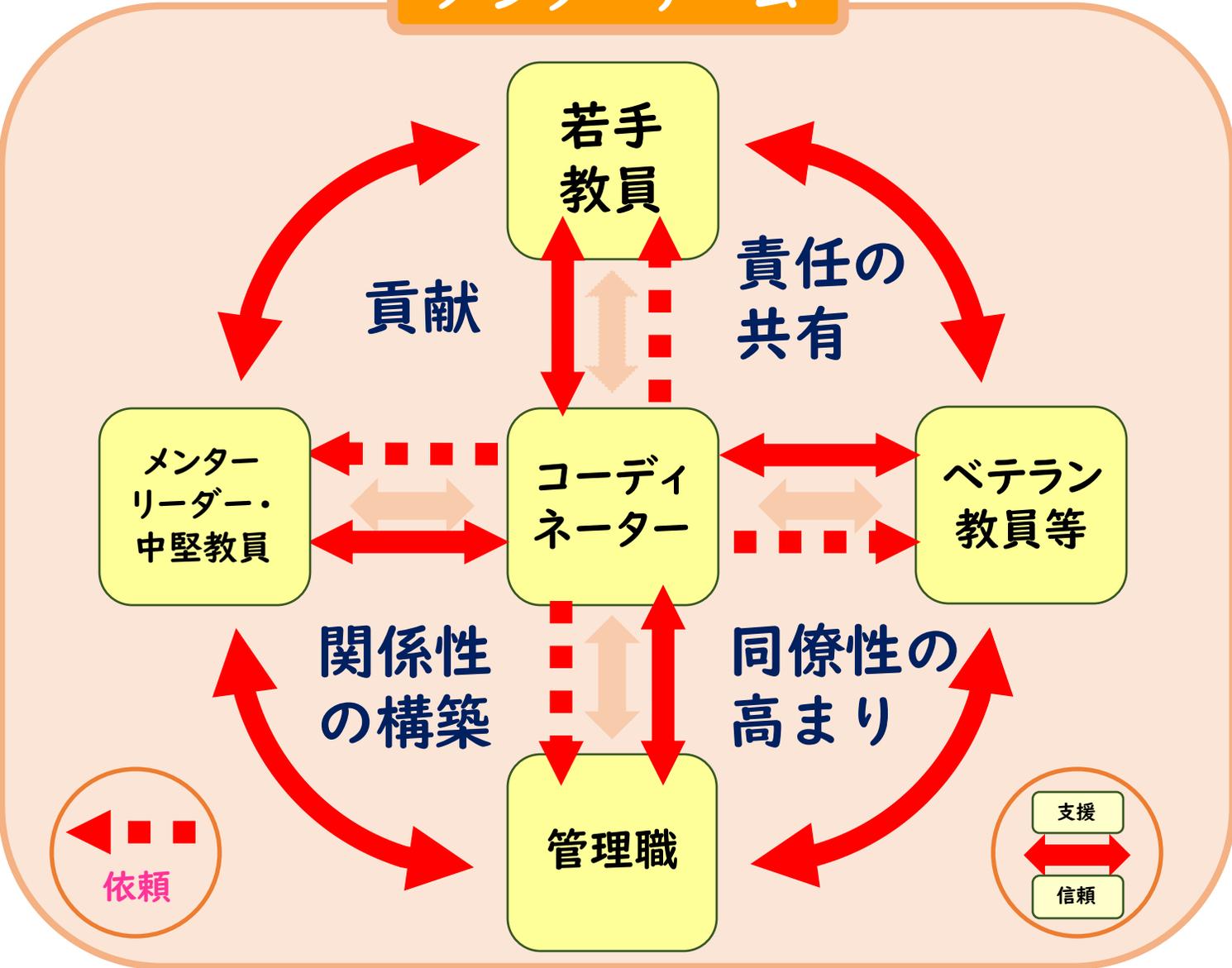
公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針 に基づく教師に共通的に求められる資質の具体的内容



※ 上記に関連して、マネジメント、コミュニケーション（ファシリテーションの作用を含む）、連携協働などが横断的な要素として存在

校内サークル型メンター制研修

メンターチーム

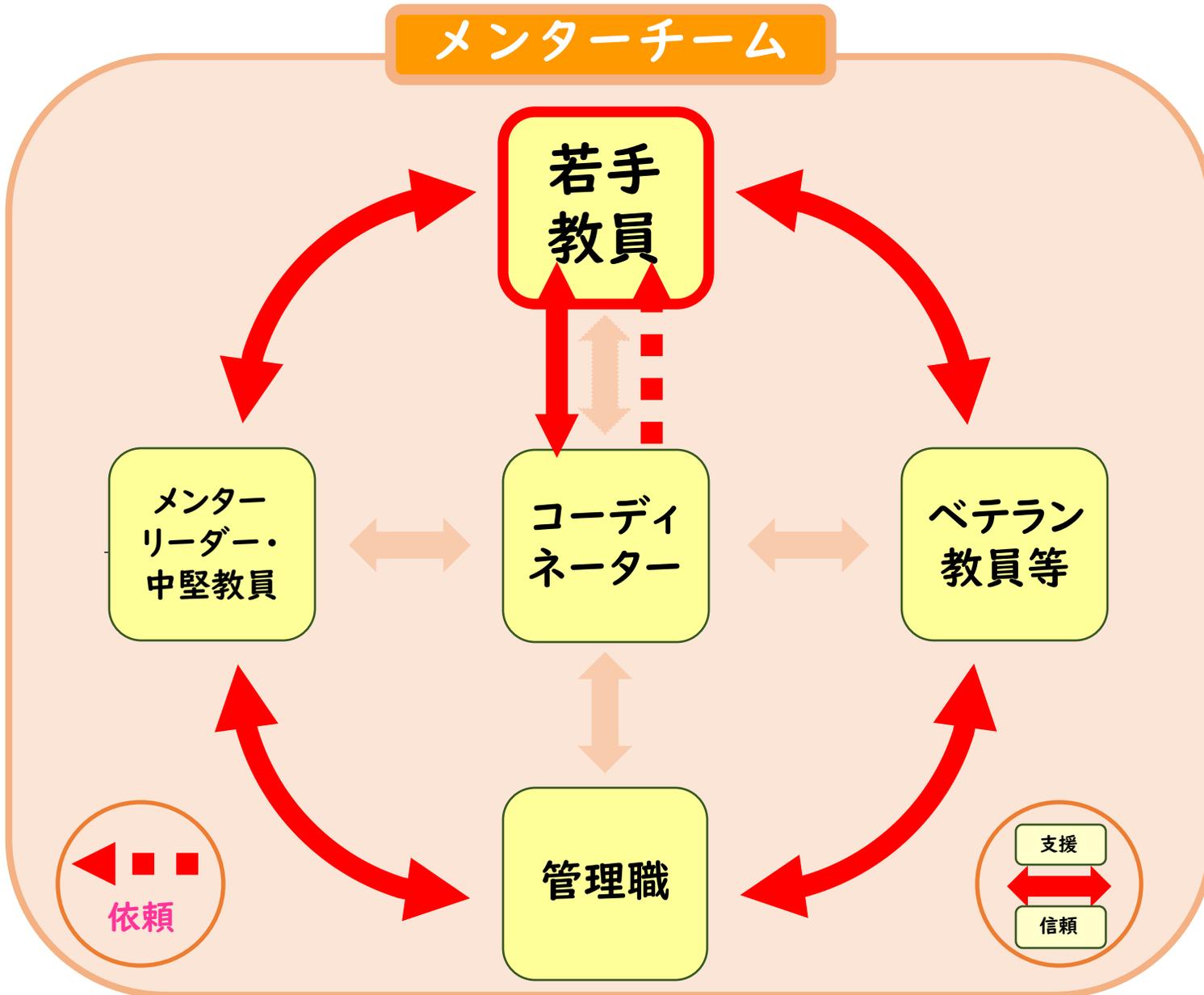


メンター制研修「校区を巡ろう」



校内サークル型メンター制研修

第7回 メンター制研修「コンプライアンス」
(若手教員発信→校内研修)



【目的】

不祥事の事例に学び、自分事として考え、
知識と意識を更新する。

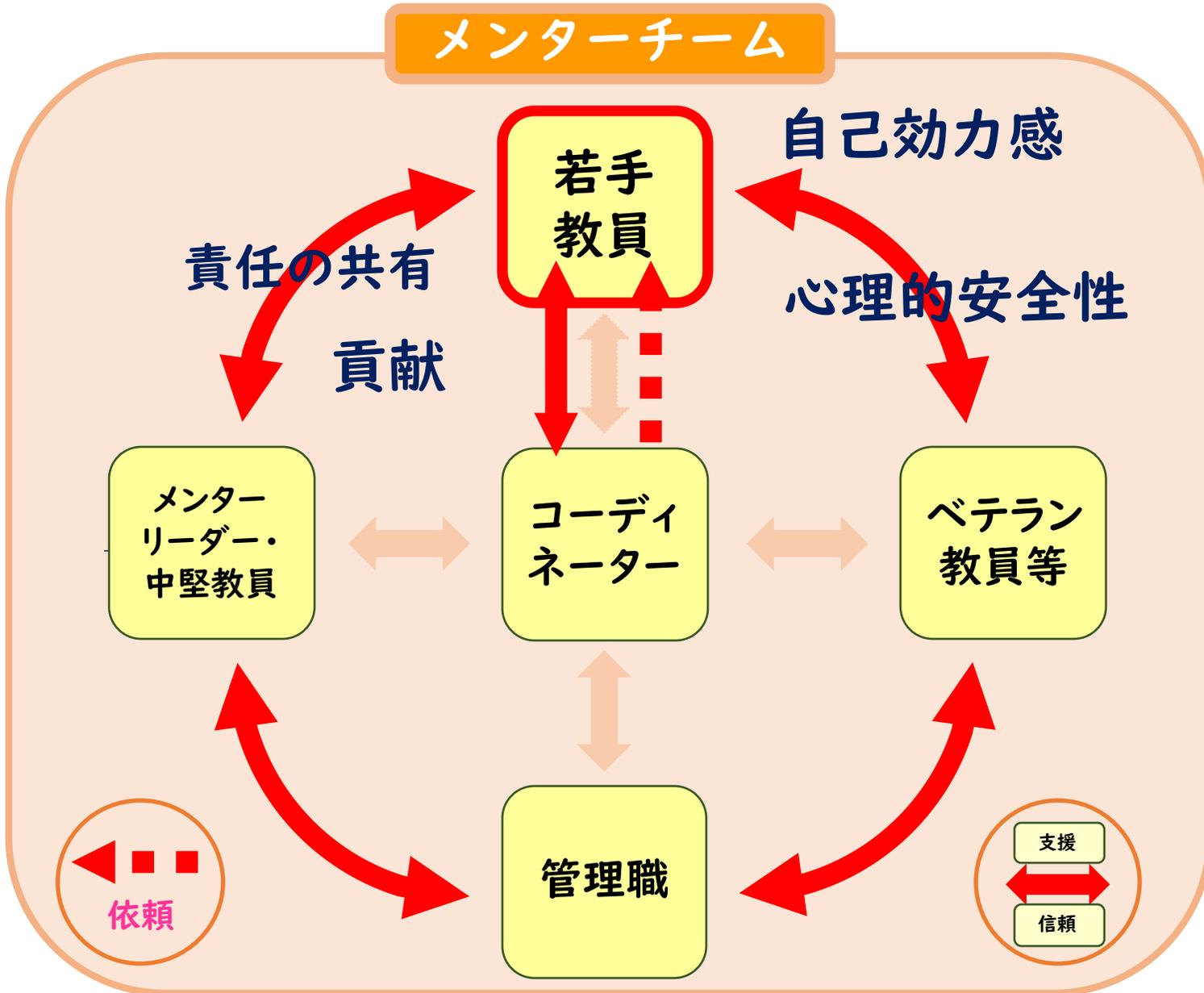


貢献

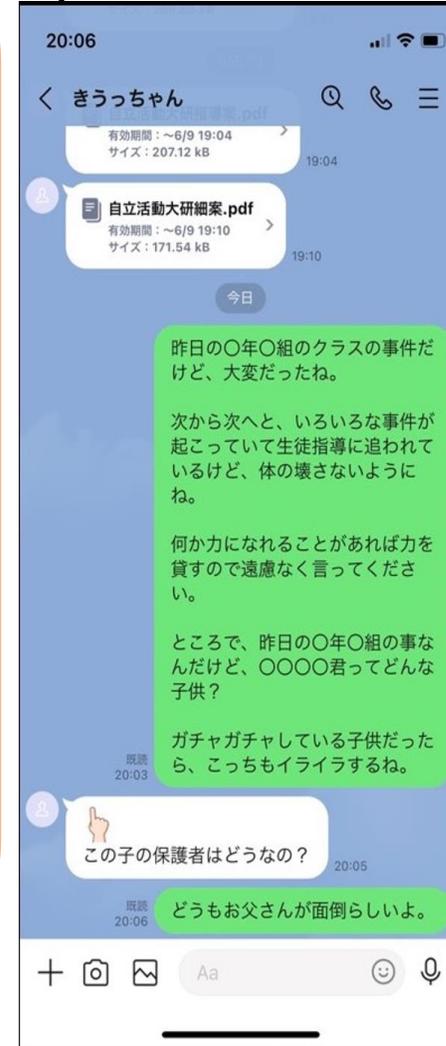


校内サークル型メンター制研修

コンプライアンス研修
(若手教員発信→校内研修)



【目的】



初任者
自作資料
← ← ←

あなたのLINEに次のような投稿がありましたか。
どうしますか。



校内サークル型メンター制研修

メンター制研修

「チームで授業をつくる」

【目的】

各チームで、各自の研究授業について情報共有しよう

メンター



校内サークル型メンター制研修

「チームで授業をつくる」

【目的】

各チームで、各自の研究授業について情報共有しよう（各チームにお任せ）



■若手教員K先生の研究授業をチームで考えた。



スマイル



■研究授業で何をしたいか3名それぞれ情報共有を行った。



ちっぴー

貢献



■若手教員がメンターとなり、次回中堅教員が研究授業で活用する「Meta MoJi」についてプレゼンを作成し、チームで学び合った。



SKY MIND

校内サークル型メンター制研修

「チームで授業をつくる」メンター制研修から研究授業及び授業研究会（校内研修）へ

【目的】 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業を目指す



中堅教諭等資質向上研修（10年次）

3年生研究授業 国語科「話し合いで考えを広げよう、まとめよう」

「SKY MIND」チームの研究授業をY教諭が実施した。「山小屋で三日間すごすなら」の授業で参観者には、7つのグループの子どもの発言や活動の様子について、研究会で教えてほしいとワークシートに記述していたため、参観者は、授業者の授業の考え方と、それぞれのグループの子どもの思考の流れについて観察した。

校内研修の改革 ―学びを中心に―

学習院大学文学部教授 佐藤 学

10年ほど前、琵琶湖周辺の小さな学校で昭和10年前後の校内研修の詳細な記録史料を発見した。

その史料を見ると、4月に研究部が組織され、年3回の研究授業が計画され(授業提案者は若い教師)、毎月の研究会で教材研究、発問計画、板書計画、指導案作りが行われ、そして授業協議会では授業者の反省から始まり、どこの教え方が良かったか、どこを改善すべきかが語り合われ、最後に視学官が講評を述べている。今と同じではないか。80年間で社会は大きく変化したというのに、校内研修は何も変化していない。このままでは、80年前の授業が再生産されるだけである。

校内サークル型メンター制研修

「チームで授業をつくる」メンター制研修から研究授業及び授業研究会（校内研修）

【目的】 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりができたか、教師も主体的・対話的な授業研究会を目指す。（対話型授業研究会に挑戦）

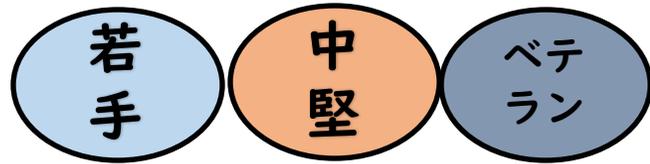
主体的な学び

対話的な学び

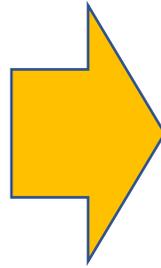
校内サークル型メンター制研修

メンター制研修から校内研修へ

「3年生研究授業（中堅教諭等資質向上研修）」



■若手教員がメンターとなり、次回中堅教員が研究授業で活用する「Meta Moji」についてプレゼンを作成し、チームで学び合った。



国語科「話し合いで考えを広げよう、まとめよう」



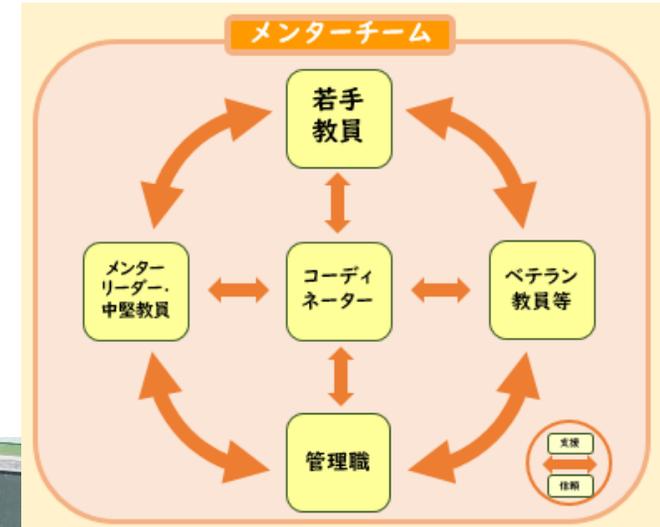
対話型授業研究会

校内研修の活性化に向けて(事例紹介)

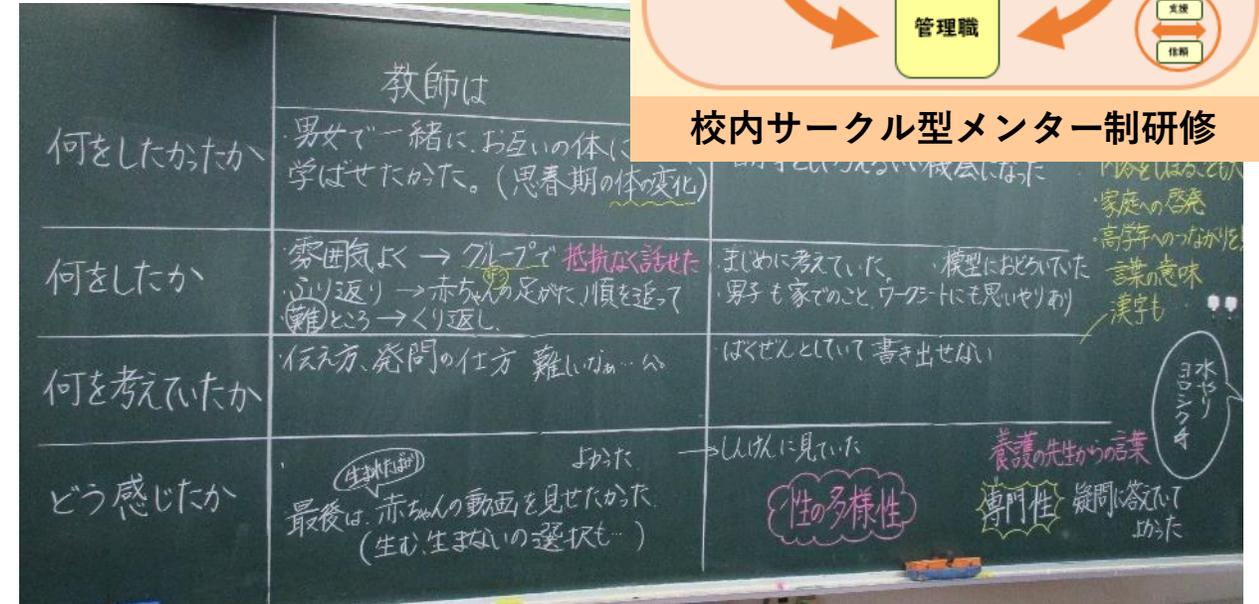
「伊沢ともに学ぼうメンターチーム」からはじまる「伊沢対話型授業研究会」の実践を通して
阿波市立伊沢小学校

「伊沢対話型授業研究会」とは

同じメンターチームの教職員が指導案の作成時から関わり、**教材研究**
や授業構想を共に考え、授業研究会では、子どもと教師が「何をした
かったのか」「何をしたか」「何を考えたか」「どう感じたか」という
4つの柱に沿って、**主体的・対話的な協議を参加者全員で行う**。



校内サークル型メンター制研修

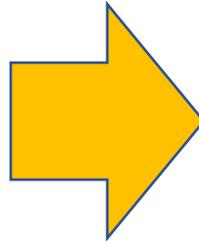


ジャンプアップ研修(5年目)での授業研究会の様子

校内研修の活性化に向けて（事例紹介）

県教育委員会学校訪問で実施した授業研究会では、指導主事等も一緒になってざっくばらんに「対話型授業研究会」を行い、参加者の力量形成を図った。

3年生 図画工作科 研究授業



3年生 対話型授業研究会



研究授業は、メンターチームで話し合いながら対話を通して考えています。このことで、参加する教員は自分事として考え、チームの誰もが本時の授業を実施できるのです。

主幹教諭



ベテラン教員もメンター制研修と一緒に参加することで若手・中堅教員から刺激を受け、研修を楽しんでいる様子や対話の中から、「自己変革しないと…」といった前向きな言葉を聞くことができました。

主幹教諭がメンター制研修を引っ張ってくれている。教務主任として、若手の相談にもものってくれる。研究授業や授業研究会についても新たな提案をし、リーダーシップを発揮しながら、全教職員の力量アップに取り組んでいる。

校長



令和の日本型学校教育

校内における教師同士の学び合いやチームとしての研修の推進は、教師の「主体的・対話的で深い学び」にも資することから、校長のリーダーシップの下での、全校的な学び合い文化の醸成や、そのための協働的な職場環境づくりが期待される。

また、校内全ての教師の専門性を生かして、真に全校的な学び合い文化を醸成するためには、教諭等とは異なる専門性を有する養護教諭や栄養教諭等も含め、一丸となってこのような校内文化を作っていく必要がある。その際、研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励そのものではないが、日常的に指導助言や支援を行う立場にある主幹教諭などのミドルリーダーや研修に関して中核的な役割を担う教師、メンター等の協力を得つつ、校内の研修推進体制を整えることが、対話に基づく受講奨励の実効性を高めることにも寄与すると考えられる。

中央教育審議会 質の高い教師の確保 特別部会 (R6.5.13)

「令和の日本型学校教育」を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について
 (審議のまとめ)【概要】(令和6年5月13日 中央教育審議会質の高い教師の確保特別部会)

第1章 我が国の学校教育と教師を取り巻く環境の現状

1. 我が国の学校教育の現状

- 日本の学校教育は、全国的に一定水準の教育を保障
- 知・徳・体にわたる全人的な教育が国際的にも高く評価
- PISA2022でも世界トップレベルの結果

これらは、**教師の
献身的な努力**の成果

- コロナ禍により、学校が子供たちにとっての**福祉的な役割**も担っていることが再認識
- 学校を取り巻く環境の大きな変化
(例：GIGAスクール構想の進展、社会自体の急激な変化等)

➡ **日本の学校教育は更なる高みを目指す**：「主体的・対話的で深い学び」「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実
 新たな学びの実現に向けて、教職の魅力を向上し、教育界内外から教師に優れた人材を確保し続ける環境整備が必要不可欠

2. 学校が対応する課題の複雑化・困難化と家庭・地域をめぐる環境の変化

➢ 不登校 ➢ いじめ重大事態 ➢ 特別支援教育 ➢ 児童虐待 ➢ 外国人児童生徒 ➢ 子供の貧困 ➢ ヤングケアラー ➢ 家庭・地域の状況も大きく変化 など

➡ 課題が複雑化・困難化する中で、結果として、**学校や教師の負担が増大してきた実態**

※不登校児童生徒数やいじめ重大事態の発生件数は過去最多

3. 我が国の教師を取り巻く環境の現状

- 改革の成果
- 令和元年給特法改正を踏まえた時間外在校等時間の**上限指針**の策定
 - 「3分類」に基づく**学校・教師が担う業務の適正化**
 - **教職員定数の改善**や**支援スタッフの配置拡充** など
- ＜教師の時間外在校等時間の推移＞
 (教員勤務実態調査より推計、教諭・月当たり)

- 課題
- 依然として**時間外在校等時間の長い教師が存在**
 - **教師不足**も憂慮すべき状況
 - 教師の**メンタルヘルス対策**も喫緊の課題

- **時間外在校等時間の減少**
- 有給休暇の取得日数の増加 など

平成28年度		令和4年度	
小学校	中学校	小学校	中学校
約59時間	約81時間	約41時間	約58時間

教師を取り巻く環境は、我が国の未来を左右しかねない**危機的状況**
教師を取り巻く環境の抜本的な改革が必要

第2章 教師を取り巻く環境整備の基本的な考え方

1. 「令和の日本型学校教育」を担う教師及び教職員集団の姿

- 教師は、崇高な使命を自覚し、絶えず**研究と修養**が求められる**学びの高度専門職**であり、教職生涯を通じて**学び続けられる**ようにしていくことが必要
- チーム学校の考え方の下、**多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成**が必要

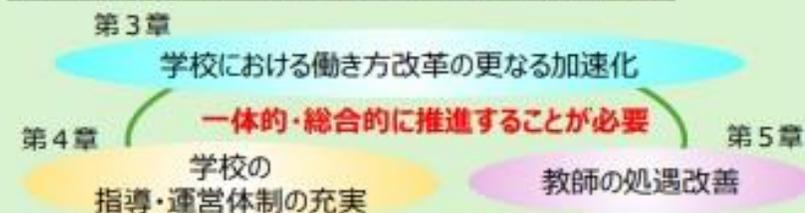
➡ **研修や学ぶ時間の十分な確保等によって自己の資質・能力等を高められるようにし、生き活きと子供たちと接することができる環境の整備が必要**

2. 教師を取り巻く環境整備の目的

- 教師の**健康を守る**ことはもとより、教師の**人間性や創造性**を高め、高い**専門性を発揮**できるようにするとともに、知識・技能等を**学び続けられる環境の整備**
- **新たな学びの実現に向けて**、教師の**資質能力の向上**や多様な人材の**教育界内外からの確保**により、質の高い教職員集団を実現
- **若手教師や教職志望の学生**を引きつけるため、**抜本的に教職の魅力**を向上

➡ **学校教育の質の向上を通じた、全ての子供たちへのより良い教育の実現**

3. 教師を取り巻く環境整備の基本的な方向性



「徳島型メンター制度」のさらなる推進について

楽しく 強み

主体性 満足感

つながり 学び

自己肯定感 働き方改革

楽



「徳島型メンター制度」のさらなる推進について

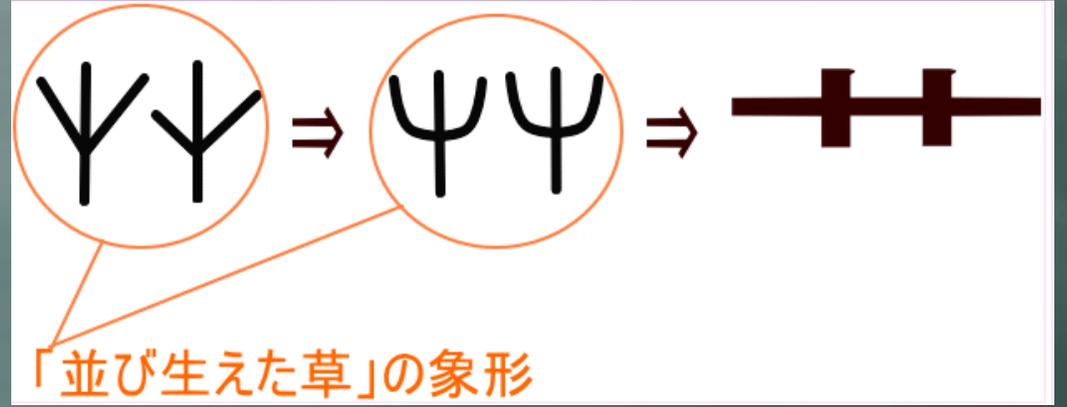
楽しく 強み

主体性 満足感

つながり 学び

自己肯定感 働き方改革

楽



「徳島型メンター制度」のさらなる推進について

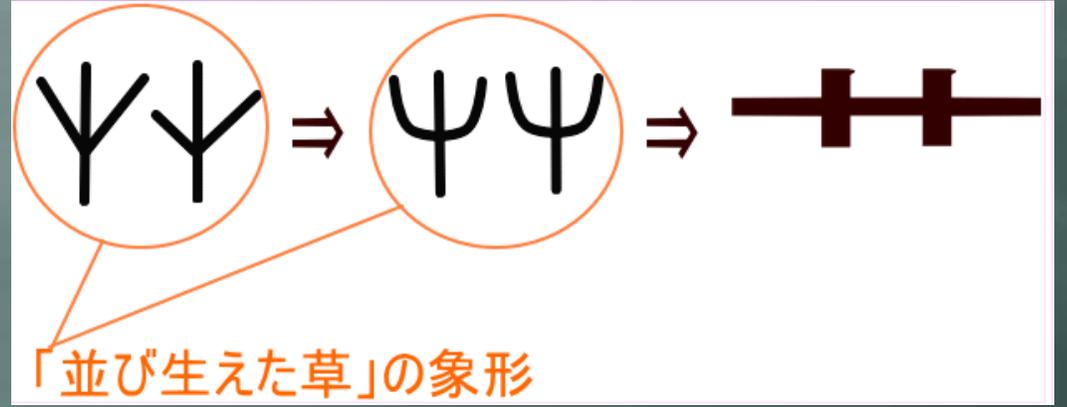
楽しく 強み

主体性 満足感

つながり 学び

自己肯定感 働き方改革

薬



「徳島型メンター制度」のさらなる推進について

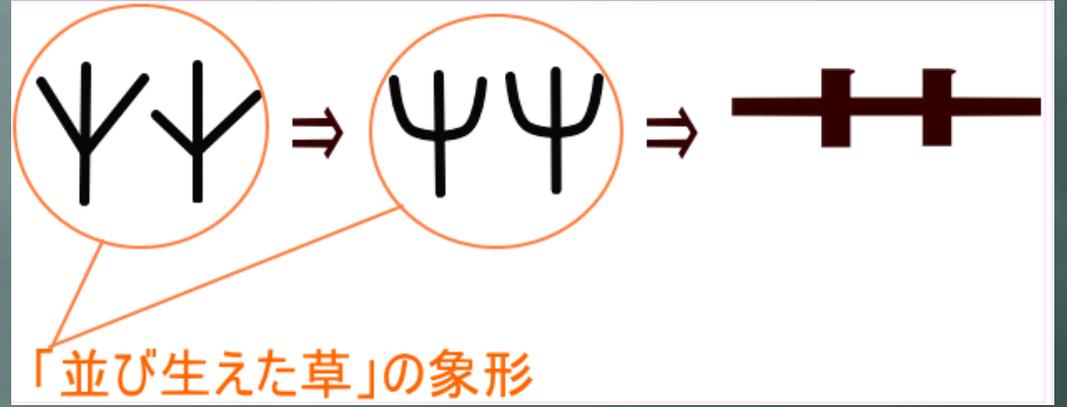
楽しく 強み

主体性 満足感

つながり 学び

自己肯定感 働き方改革

薬



メンタルケア
心理的安全性
の確保

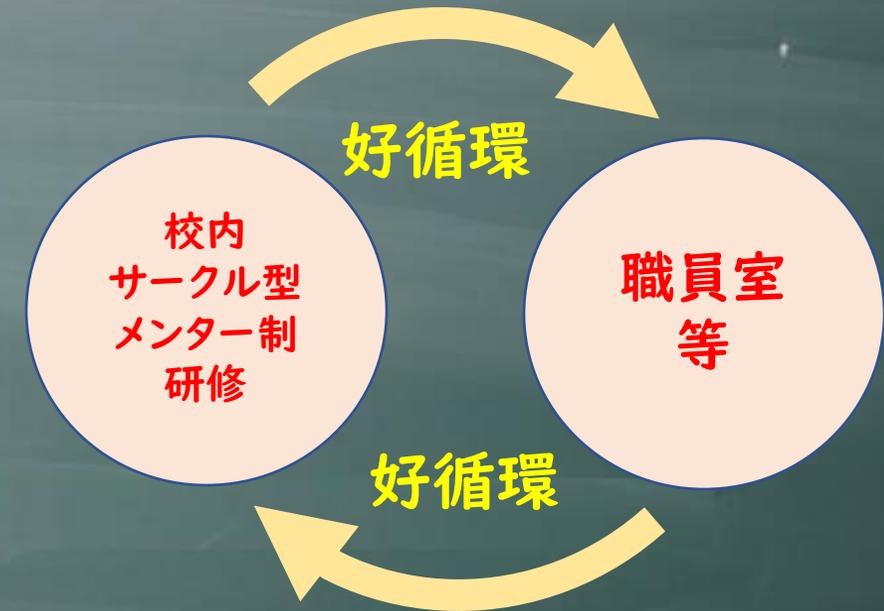
【成果】

学び合う**組織文化**が生まれた。

- ・メンター制研修と職員室等での関係性の質の向上につながった。
- ・**教職員同士の同僚性**が高まり、日常業務の中でも**自然発生的にコミュニティ**が生まれ出した。

関係性の構築

- ・周りの先生方を見るように
- ・準備の早い**ベテラン教員**に聞きやすく
- ・職員室などで**聞きやすい環境**



管理職から

- ・若手教員が**学びやすい雰囲気**
- ・**教育に関する世間話**
- ・**本音**が出ている
- ・同僚との**信頼関係**

対等な関係性の中で主体的に 学び合う研修文化の醸成



新たな教師の学びの姿

やってみよう・振り返ろう
「徳島型メンター制度」推進ガイド



本推進ガイドは、本年度までに多くの学校において実践されてきた「徳島型メンター制度」の相事例を基に、各学校における人材育成の更なる展開を支援することを目的に作成しました。人材育成を進めようとする教職員が「徳島型メンター制度」による研修を企画・運営する際のツールとして活用してください。

また、既に取組を進められている学校においても、本ガイドを活用し、振り返りを行うことで、自らの「徳島型メンター制度」の更なる充実につなげていただきたいと思います。

徳島県教育委員会 令和4年2月

「徳島型メンター制度」に関する問合せ先
徳島県教育委員会教職員課 Tel:088-621-3150



「徳島型メンター制度」のさらなる推進について

キーワード 「**楽**」

Must思考… べき、ねばならない 受動的

「徳島型メンター制度」のさらなる推進について

キーワード 「**楽**」

Must思考… べき、ねばならない 受動的



Want to思考… ～したい **主体的**

対等な関係性の中で主体的に
学び合う研修文化の醸成



新たな教師の学びの姿



徳島型メンター制度 II

(セカンド)



やってみよう・振り返ろう
「徳島型メンター制度」推進ガイド



本推進ガイドは、本年度までに多くの学校において実践されてきた「徳島型メンター制度」の
相事例を基に、各学校における人材育成の更なる展開を支援することを目的に作成しました。人
育成を進めようとする教職員が「徳島型メンター制度」による研修を企画・運営する際のツールと
して活用してください。

また、既に取組を進められている学校においても、本ガイドを活用し、振り返りを行うことで、自
身の「徳島型メンター制度」の更なる充実につなげていただきたいと思います。

徳島県教育委員会 令和4年2月

「徳島型メンター制度」に関する問合せ先
徳島県教育委員会教職員課 Tel:088-621-3150

2024年5月17日(金)

「徳島型メンター制度」 のさらなる推進について





続いて、演習です

県の教育施策を職場の同僚に伝えます。伝え方はお任せします。

演習の流れ

(1) チームごとにお題を決定(2分)

- ① 徳島教育大綱・徳島教育振興計画
- ② とくしま教員育成指標
- ③ 研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励
- ④ とくしまの学校における働き方改革プラン(第3期)
- ⑤ その他

(2) 施策の伝え方を協議(16分)

・どのように、ファシリテートしますか。(5WIH)

(3) 共有(各班2分以内×6チーム)

研修等で参考にご活用ください。



徳島県立総合教育センター

〒779-0108 徳島県板野郡板野町犬伏字東谷1-7

電話：088-672-5000

ファクシミリ：088-672-5005

E-mail webmaster@mt.tokushima-ec.ed.jp



教職員研修講座

ホーム

生涯学習

教職員研修講座

教職員支援・学校支援

教育相談・特別支援 ▾

GIGAスクール推進

ダウンロードとリンク ▾

教育資料のダウンロード

各種様式のダウンロード

リンクリスト

リンクリスト

県内の教育機関等

県内の取組等

県外の教育機関等

★ 県内教員・学校専用

県内の教育機関等

小学校

中学校

高等学校・中等教育学校

特別支援学校

高等専門学校・大学



徳島県立総合教育センター

〒779-0108 徳島県板野郡板野町犬伏字東谷1-7

電話：088-672-5000

ファクシミリ：088-672-5005

E-mail webmaster@mt.tokushima-ec.ed.jp



ホーム

生涯学習

教職員研修講座

教職員支援・学校支援

教育相談・特別支援

GIGAスクール推進

教職員研修講座



年間計画

講座要項

研修資料

eラーニング

講座申込

提出書類のダウンロード



教職員研修講座



このページは、教職員向け研修・講座についてのページです。

年間計画

講座要項

研修資料

eラーニング

講座申込

提出書類の
ダウンロード

小英サポートデスク

教職員支援コンテンツ

校内研修好事例

校内研修好事例

校内研修の活性化に向けて

校内研修の活性化に向けて

00_【全体】【R5年度】校内研修報告.pdf	
01_徳島市城東小学校.pdf	主体的な学びで授業力up！ ～軽やかな授業研究会と校
02_鳴門市瀬戸中学校.pdf	～つながる授業改善へ ～シンキングツリーの活用による
03_阿波市立伊沢小学校.pdf	「伊沢ともに学ぼうメンターチー ～はじまる「伊沢対話型授業研究
04_吉野川市立鴨島東中学校.pdf	全員参加型中学校校内研修モデル ～「粘り強さ」と「振り返り」で
05_美馬市立穴吹中学校.pdf	ホワイトボードを活用し「対話」
06_神宅町立神宅小学校.pdf	授業 を 見る目 が 育つ！ ～「対話型」授業研究会 のス

03_阿波市立伊沢小学校pdf

「伊沢ともに学ぼうメンターチーム」から
はじまる「伊沢対話型授業研究会」の実践を通して
阿波市立伊沢小学校

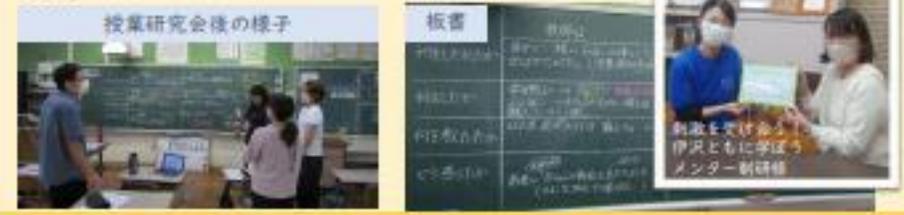
「伊沢対話型授業研究会」とは

同じメンターチームの教職員が指導者の作成時から関わり、教材研究や授業構想をともに考え、授業研究会では、子どもと教師が「何を
したかったのか」「何をしたか」「何を考えたか」「どう感じたか」という4つの柱に沿って、主体的・対話的な協議を参加者全員で行う。



事例1：ジャンプアップ研修にて

後援教諭が4年生で保健の授業を実施。メンターチームで授業を考え、研究会でも自分の授業として話し合った。研究会が終わった後も参加者（管理職を含む）の話しは続いており、管理職からも「みんなで授業（研究会）をつくっている感じがよかった。」という感想をいただいた。



事例2：研究授業及び対話型授業研究会の様子

県教育委員会学校訪問で実施した1年・3年の授業研究会では、指導主事等も一緒になってざっくばらんに対話型授業研究会を行い、参加者の力量形成を図った。

3年生 図画工作科 研究授業

研究授業は、メンターチームで話し合いながら対話を通して考えています。このことで、参加する教員は自分事として考え、チームの誰もが本校の授業を実施できるのです。

1年生 算数科 授業研究会

算数の研究授業を実施したベテラン教員から、「数日前休調を前にしていましたが、一緒に授業を考えたチームの先生が、「しんどかったら、私が代わりに授業するよ。」と言ってくれるほど自分事になっていることに感激した。」と語っていました。

また、ベテラン教員もメンター制研修に一緒に参加することで若手・中堅教員から刺激を受け、研修を楽しんでいる様子や対話の中から、「自己変革したい」といった前向きな言葉を聞くことができました。

3年生 対話型授業研究会

主幹教諭がメンター制研修を引っ掛けてくれる。教務主任として、若手の相談にも乗ってくれる。研究授業や授業研究会についても新たな提案をし、リーダーシップを発揮しながら、全教職員の力量アップに取り組んでいる。

<https://kyousyokuinka.tokushima-ec.ed.jp/>